



レバンガ北海道 折茂武彦さん講演会

日本バスケット界のレジェンド 折茂武彦さんが当別中学校に！

道徳の授業の一環で、当別中学校体育館にて、元プロバスケットボール選手であり、現役時代からバスケットボールB1リーグ・レバンガ北海道の代表取締役社長を務める折茂武彦さんが講演を行いました。

1年生は体育館で、2・3年生は各教室でお話を聴きました。

「我がバスケットボール人生」と題された講演では

- ・ 人生は自分次第
- ・ 大切なのは「考える力」「対応する力」「聞く力」
- ・ 今やるべきことは何か、常に状況判断をする

- ・ ONとOFFを一緒くたにしない
 - ・ 「才能」を諦める理由にはいけない
- など、プロバスケットボール選手、社長としての自身の経験を交えながら生徒たちへ語りかけました。

最後に『今日の講演が皆さんにとって良いきっかけになればと思います。自分でしっかり考えて、楽しい学校生活を送れるように努力してください』と締め、生徒たちはメモを取りながら真剣に聞き入っていました。

教えて!折茂さん

大会前はどんなトレーニングを すると良いですか

試合に臨むにあたって一番大切なのは自分のコンディション。しっかり食べて寝て身体や心を整えることが重要です。

試合前に特別なことをやったからといって特別な結果が出るわけではなく、日頃やってきたことが試合に出ます。

普段のトレーニングを信じて、チームでひとつの方向に向かうことが大切です。

生徒たちからの質問に
答えていただきました

折茂さんの夢を 聞かせてください

子どもたちに自分の体験や技術を伝え、北海道のレベルをさらに上げ、世界で戦える選手を育てたいです。

最大の夢は、北海道がバスケットボールで溢れる社会にすること。

そのために、バスケットボールのリングがある公園をたくさん作り、当たり前のように外でバスケットボールをしている地域にしたいと考えています。





成功し熱気を帯びる体育館。

生徒たちの熱気が勝ったか、最後は折茂さんが外し、見事当中チームが勝利を飾りました。

対決をしたバスケットボール部をはじめ、体育館に集まった生徒たちからは満面の笑みがこぼれていました。

対決後、生徒会役員の茶畑さんが代表して折茂さんへお礼の言葉を述べ、記念撮影をし、盛況のうちに終了しました。



体育館白熱！スリーポイント対決

講演後には、バスケットボール部の生徒4人と顧問の大桃先生による当中チームが折茂さんとスリーポイントシュート対決を行いました。

司会の生徒によるユーモラスな選手紹介から始まった対決。

現役時代、日本屈指のスコアラーとして鳴らした折茂さんも、引退から1年以上経っていることもあり、不安をのぞかせていましたが、現役時代さながらのシュートフォームから

5本中3本がリングに吸い込まれ、司会の生徒は『さすがプロですね』と舌を巻きました。

当中チームは5本中1本の成功と奮わずあえなく敗戦も、バラエティ番組のようなお願いから再試合へ。

それぞれ3本シュートを放ち1本ずつ成功と両者譲らず。その後は、一方が勝ち越した時点で試合終了となる方式へ突入。

両者とも1本目を成功させたあと、当中チームが2本目も

広報とうべつ独占インタビュー

当別中学校の子どもたちと触れ合ってみて

質問にも積極的ですし、とても和気あいあいとしていて、男女とも仲が良く、講演をしながら元気をもらえました。

先生も生徒から親しまれているのが今日の様子を見るとわかりますし、当別中学校全体が良い雰囲気だというのが、よく伝わってきました。

楽しい時間を提供していただきありがとうございます。

広報誌を通して子どもたちへ伝えたいこと

失敗を恐れずに色んなことにチャレンジして欲しいです。誰だって失敗したくないですが、(失敗したとしても)それを成長に変えられるかどうか。可能性を見出すには、様々なことを経験し、興味をもつことが重要です。

子どもたちは可能性が無限大なので、何事にも自分自身を信じて取り組んでもらえればと思います。

レバンガ北海道の選手を目指す子へ

埼玉のミニバスもない地域出身の私でもここまで来られました。誰にでもチャンスはあります。

上手くなるには、人より努力をすることを怠ってはいけませんし、努力なしにプロになれるということはまずありません。

自分と向き合い、自分の成長のために何をすべきかを考えて練習していけば必ず上手くなります。希望をもってやって欲しいです。

折茂武彦 (おりも・たけひこ) 1970年5月14日埼玉県生まれ

1993年トヨタ自動車(現・アルパルク東京)に入団。

2007年レラカムイ北海道へ移籍。2011年チーム消滅の危機から

自らレバンガ北海道を創設。日本出身選手初の国内トップリーグ通算10,000得点を記録するなど

日本屈指のスコアラーとして活躍。2020年に引退。背番号9は永久欠番。著書に「99%が後悔でも。」



レバンガ北海道
公式HP